

## 令和5年度第1回 時津町総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和6年2月29日（木）午後1時30分開会
- 2 場 所 時津町役場 第二庁舎 2階大会議室
- 3 出席者 町 長 山 上 広 信  
教 育 長 相 川 節 子  
教育委員会委員 吉 田 三知子  
教育委員会委員 天 田 明 香  
教育委員会委員 宮 原 克 也  
教育委員会委員 峯 隆 三
- 4 事 務 局 総務部総務課  
教育委員会事務局教育総務課
- 5 協議・調整事項 ①時津町教育大綱に基づく事業の実施状況について  
②通学路の見守りについて  
③図書館教育について  
④寺子屋について
- 6 議 事 以下のとおり

## ●全文記録

【開会】	
司会	<p>こんにちは。</p> <p>ただいまから、総合教育会議を開催いたします。</p> <p>それでは、まず、山上町長からごあいさつを申し上げます。</p>
町長	<p>皆さまこんにちは。本日は、お忙しい中に総合教育会議にご参加、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>コロナもカテゴリーが去年の5月に5類に変わり、いろいろなイベント等も再開されております。人が集まり会議を行うこと、事業を行うことは大切なことであるということを感じておられるのではないかと思います。</p> <p>時津町としても中学生の海外派遣事業を去年実施しました。これまで計画をしていた令和元年、令和3年、令和4年の3年度分の対象者の派遣を3年越しに行えたことは、私も安心しておりますし、今年度も3月下旬に10名程度の中学生のみなさんを海外に派遣させていただくこととしております。異文化に接するなかで様々な経験ができると思いますし、語学に興味を持たれることもあると思います。去年派遣した方の中には、海外派遣事業を契機に留学を決めた方もいると報告を受けております。そういった意味でも、様々な文化に触れ、理解を深める絶好の機会であると思います。</p> <p>教育関係施設では、昨年7月に日並郷の第10工区に学校給食センターの第一調理場が完成しました。2学期から小学校4校の児童においしい安全な給食の提供を行っています。</p> <p>教育委員会関係では、浜田郷にございます時津町コスモス会館の改修工事を来年度とその翌年度の2年度にわたって予定しております。平成3年の建築から30年以上が経過し、エアコンや空調関係が故障しており、温度の調整ができない状況となっております。そのほか、エレベーターの更新工事や2階へのトイレの設置、相撲場は別目的に使用できるよう改修を考えております。これらに5億円近い費用を要するというので、こういった整備・施設の改修もしくは老朽化による補修により財政的には支出が増えてきている状況です。</p> <p>次に、ソフト事業として、来年度から心の健康相談員を全町立小学校4校への設置を行います。今まで町立中学校2校に設置しておりましたが、社会情勢や家族構成の変化などに伴い、児童生徒の悩みも多様化し、複雑化しておりますので、小学生にもそういった心のケアが必要であろうということで相談しやすい環境づくりを行います。</p> <p>さて、本日は、令和元年度に定めた時津町教育大綱に基づく事業の実施状況等4つのテーマについて協議を予定しております。限られた時間ではございますが、本町の教育、学術及び文化の振興を推進するためにも、本日の会議が実り多きものとなることを願ひまして、簡単ではございますが挨拶に代え</p>

	させていただきます。本日は、よろしく申し上げます。
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、相川教育長にごあいさつをお願いいたします。</p>
教育長	<p>改めまして、こんにちは。</p> <p>時津町総合教育会議を4年ぶりに開催いただき、ありがとうございます。</p> <p>我々教育委員は、教育のことについて町長に直談判する機会がなかなかございません。直談判と言いましても、一方的に要求するのではなく、教育委員として現状の社会教育、学校教育また教育環境をつくるうえで日頃気がついている点など率直な考え方、意見をこの場で意見交換しながら、町長のお考えもお聞かせいただきながら、あるところは折り合いをつけながら。そしてまた、お願いするところもあるかもしれません。そういったやり取りの一番の基本は、子どもたちのためにということで、同じ土俵に立って、今日は率直な意見交換ができますれば幸いであると思っております。</p> <p>忌憚のない意見を言いましょうねと打ち合わせをしておりますので、いろんなことで意見交換をして、より時津町の教育の発展につながっていけばよいなと思っております。</p> <p>今日はどうぞよろしくをお願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本会議の構成員の紹介をさせていただきます。</p> <p>山上広信時津町長です。</p> <p>教育委員会から相川節子教育長です。</p> <p>教育委員会吉田三知子委員です。</p> <p>同じく天田明香委員です。</p> <p>同じく宮原克也委員です。</p> <p>同じく峯隆三委員です。</p>
司会	<p>その他教育委員会と町長部局の職員が事務局として本会議に出席しております。ご紹介に代えさせていただきます。</p> <p>それでは、議事に入る前に総合教育会議の概要について事務局より説明いたします。お手元の資料①「時津町総合会議について」をご覧ください。</p> <p>時津町総合教育会議は、町長と教育委員会が連携を強化し、より一層民意を反映した教育行政を推進するために、対等な執行機関同士が協議・調整を行う場として、平成27年度から開催しています。</p> <p>次に、会議の概要についてですが、本会議は、町長が招集を行い、開催します。会議の構成員は、町長と教育長及び教育委員会の委員です。個人情報保護や公益上の必要があるとき以外は、会議は原則として公開とします。</p> <p>会議での協議・調整事項は、教育政策に関する事項でございまして、内容といたしましては、教育行政大綱の策定や教育の条件整備など重点的に講ずべき施策、児童生徒等の生命・身体の保護と緊急な場合に講ずべき措置などと</p>

	<p>なっております。簡単ではございますが、本会議の概要の説明は以上となります。</p> <p>それでは、協議・調整に移らせていただきます。</p> <p>時津町総合教育会議運営方針第5条により、ここから、山上町長に議長をお願いしたいと思います。</p> <p>町長、よろしく願いいたします。</p>
<b>【協議・調整事項】</b>	
町長	<p>それでは、さっそく協議・調整に入らせていただきます。</p> <p>①時津町教育大綱に基づく事業の実施状況について、協議を行います。</p> <p>時津町教育大綱は、本町の教育が目指す基本的な理念を明らかにし、教育の振興に関する基本的な方針及び講ずべき施策についてまとめています。</p> <p>令和元年度の策定以来、大綱に定める基本目標の実現に向け、教育委員会におかれては、様々な事業を実施いただいているところですが、本日は、それらの事業の実施状況について、ご報告いただきたいと思います。</p> <p>教育長のほうからよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>座ったままよろしいでしょうか。</p> <p>基本目標は資料①をご覧ください。いただいたらお分かりと思いますが、「1自ら広く世界に目を向け、自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育成します。」となっております。ICTの活用をしながら、子どもたちの主体的・協働的な学びを実現するという。それともうひとつ「広く世界に目を向け」ということで、まずは外国語教育、英語教育ですね。その中でコミュニケーション能力の育成を図るということを努力してまいりたいというのが1番です。</p> <p>「2 学校、家庭、地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高めます。」ということ、人と人のつながりを深めていく、暮らしやすい活力のある地域づくりをいろんな施策を打って推進していく。その大本は何といっても家庭教育でありますから、家庭の教育力を高めるために、教育行政としてのいろいろな支援を推進してまいりたい、そしてPTAの活性化にもつなげていきたいということを目指しております。</p> <p>「3 誰もが、いつでも主体的に学び、いきいきと暮らす生涯学習社会を推進します。」小さいお子さんからご高齢の方々まで、地域・町の一員としていきいきと自分の役割、生きがい、やりがいを持って、亡くなるまで何らかの学習をして、自分が生きていいるという存在感を感じながら、人生を暮らすといいでしょうか、そういった社会を目指していくために、いろいろな施策を打ちますということで、基本目標としてありました。</p> <p>次に資料③をご覧ください。全部読むと大変なので一部ご紹介します。</p> <p>広く世界に目を向けということ、子どもたちがたくましく生きるためということですが、まずは、子どもは確かな学力を第一に頑張ろうとい</p>

うことで、国の学力テスト、県の学力テストそして町の学力テストについて、その結果を検証して、課題と対策を分析しながら、各学校の課題、各学年の課題を見定めて、それをクリアするための対策、どのような授業展開をしていくかということを経験の先生方が集まって施策を考え、そして現場で、授業で実践して、なんとか力をつけてあげようとしています。その結果を、12月または1月に実施します町の学力テストで検証しようというサイクルで学力向上ということでさせております。全学、県学まあまあ力がついています。この前の町の学力テストにつきましても、国平均より上がっていますが、その中でも若干英語が弱かったです。特にリスニングとライティングですね。これについては、ほかの科目に対して標準点が低かったということで、今また早速、それについて今度国のテストが4月にありますので、それまでわずか2か月、1か月半ですが、どう焦点を絞って、課題解決に迫っていくかということで、先生方とこの前も協議をして、今学校のほうで校長先生を中心に改善に向かって努力をしているというところでございます。

それからもう一つ、広く世界に目を向けという点で、やはり英語教育、先ほど弱点だったということですが、イングリッシュデイキャンプ、先ほど町長が申しあげられました海外派遣も含めて、そしてまた英語専科の先生を小学校にお迎えする、去年増員していただきました4人のALTを学校に配置しながら、英語力アップということについて今計画的な指導を行っている状態でございます。

それから次に、心の育成については、道徳教育をメインにやっております。健やかな体ということについても、たくましく心豊かに、心もですけど体もということ。ただ、いつも結果として出るのが、柔軟性と握力が時津町県下で弱いです。逆に持久力、ソフトボール投げとかは高いです。柔軟性ということで、スクワットに似た感じのジャックナイフストレッチを必ず授業の準備運動の時にやるということ徹底してまいりたいと考えています。

次に、心豊かにということも含めて学習の機会均等の確保、これが一番、私たちが今頭を痛めているところでございます。時津町としては、特別支援教育の精神をすべての学校の基本にして、今やっております。そしてやはり、通級とか教育支援員とか頑張っておりますが、それよりも一番気になっているのが、不登校問題です。不登校で、年間30日以上休んだ子どもたちが、正直申し上げまして、令和4年度の結果でございますが、小学校が35人、中学校が59人の94人もあるということが実態でございます。おそらく今年度も同程度かちょっと上がっているかと思っております。こういうふうな子どもたち、中学校で急に多くなるということで、予備軍は小学生にもいるということで、心の教室相談員を小学校へも配置させてくださいというお願いをしたところ、了承していただいて本当にありがたいことだと思っております。それも含めて、教育支援センターの「ひだまり」、スクールカウンセラー、スクール

ソーシャルワーカーと校長経験者を学校教育相談員として設置し、そういう方たちと情報共有をしながら、学校の先生はもちろん、いろんな対策を今組織的にできているということは、非常にいいことだなと思っています。今後ももう少し強化してまいりたいと思っています。

次に、学びを支える質の高い教育環境の整備、もうすべて申し上げませんが、学校給食センター移転新築工事、時津北小学校増築工事そして鳴北中の改修工事と学校の環境を整備するというところで、本当にご配慮いただいていることはありがたいことだと思っています。

次に地域つながりですね。地域全体の教育力を高めるということについてはですね、家庭教育支援で「エンジョイパママ事業」とか、PTAの時に保護者一人一人が参画したという意識を持てるような学級PTAの在り方も一つの方策として「ながさきファミリープログラム」を取り入れた学級PTAをどんどん推奨していこうということで今広めている段階です。

それから、青少年健全育成のなかでも、私が今非常にいいなと思っているのは、4番目にあります通学合宿、それから地域子ども教室です。地域の人たちが実行委員となって主体的にやってくださっています。それに対して行政がちょっと支援をする形で、地域の人たちが自分たちでやるんだという、自立した地域人が育っているというのはとても素晴らしいことです。まだまだ十分ではございませんが、こういう一例も今出てきているということで、今後も広めてまいりたいと思っています。

そして、生涯を通じて学び続けることができる環境づくりの推進ということで、シルバーとぎつ、成人教室等いろんな講座を公民館、コスモス会館、北コミ、B&Gいろんなところの施設を通して、地域の方々が生涯学習という視点でいきいきと楽しんでおられ、生きがいを持ってやっておられます。そういうことが元気な時津の町民をつくっているということで、私としては、もっともっと講座としてアイデアを勉強してもらって、全国的なアイデアを勉強してもらって、面白い講座を企画してもらいたい。マンネリして毎年同じじゃだめだと思っています。毎年同じ講座のなかでも、何かを変えていく。そういった発想でやっていくというのが、私たち行政の役目だろうと思いますので、アドバイスをしながら、こういう講座を皆さんが楽しんで学んでいただければ、本当にうれしいなと、今後も続けてまいりたいと思っています。

自治公民館連絡協議会及び自治公民館、これについては、ペーロンとか研究大会は充実しておりますが、自治公民館活動においては、地域交流に関するアイデアには少し欠けます。研修の実施や全国のいろんな取組を紹介しながら、活動の質をよくしていきたいと考えております。

うれしいことには、時津町二十歳のつどいは、二十歳の方たちの町内の若者たちで企画運営をしていくというそういうことを数年前からやっています

	<p>が、そのような若者たちを育てていくというのが最もいいことだと思うので、とぎつ生涯学習を考えるつどいについても、メニューを考えながら、自分たちで目的をもって展開していく場を、もっと時津町のいろんな行事で広げていかなければ、自立した町民が育っていかないなというふうに個人的には思っております。</p> <p>最後に、郷土を愛し、健康な生活を育む。文化財保護についてはなかなか進まない部分もございまして、資料も少ないということで立ち止まった状態ですが、史談会とともに時津の数少ない文化財産を大事にしながら、少しずつ少しずつ発掘できればいいなと思っております。</p> <p>それからカナリーの芸術・文化の鑑賞、これはよそには負けません。カナリーホールで学校教育に対して、また地域の方たちに出すプログラム内容というのは、この町の規模では高いものがあると思っています。今後も自信をもって、芸術・文化の振興についてはカナリーをメインにしながらやっていたらいいなと思っております。</p> <p>それから、B &amp; G等を含めてですね、時津町というのは非常にスポーツ文化が高いと思っておりますので、もっとよくして行って、皆さんが健康で笑顔があふれる、スポーツをとおして明るい町民を育てていけるお助けができたらいいなと考えているところでございます。</p> <p>これが進捗状況になったかどうかわかりませんが、以上で私の説明を終わります。</p>
町長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、資料③の説明をいただきました。ただ今のご報告につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。質疑、意見交換ということでお願いします。峯委員どうぞ。</p>
峯委員	<p>1番の学力の向上ということで、今中学生の子どもがいないのでわかりませんが、高校は中間テストがなくなっています。1学期に1回しか試験がなく、範囲が広がっていて、子どもによって差がすごく出てきているということなのですが、中学校はどうなっていますか。</p>
教育長	<p>中学校もなくなってきました。国と県の学力テストあり、単元別のテストとございますか、ひとくくりの授業の振り返りの小テストがあります。あとは、6月末に期末テストがあります。1学期は、そういう形になります。</p>
峯委員	<p>中学を卒業して高校生になったら、中間テストがなく、1学期のテストが少なくなった代わりに民間のテストを受けるようになりますので、少しその辺にあわせて中学校もしていったほうがいいのかと思います。</p>
天田委員	<p>中間テストはないけど実力テストはあっていますね。学年で2回、長期の休み明けにあるようです。</p>
峯委員	<p>不登校ということだったのですが、保護者はとても悩まれていると思います。そういった保護者に対するケアというのはありますか。</p>

教育長	<p>おこなっております。教育支援センター「ひだまり」で、茶屋を会場にし、学校には行きたくないけども、そこに参加すれば出席扱いになります。そういう子どもたちが9名くらい在籍はしているのですが、実際に来ているのは、4～6名です。教育支援センターで、今はまだ2回か3回しか開催していませんが、不登校で悩んでおられる保護者に、心の教室相談員、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、養護教諭、そして教育委員会事務局の担当と一緒に悩みを聞いて、アドバイスをする会を設けております。</p> <p>ただ、まだ出席者が少ないです。本音で悲しいことをおっしゃって、それに思いを寄せながら、だいたい2時間程度です。</p> <p>@ c a f e（あったカフェ）という名前です。</p>
峯委員	ありがとうございます。
町長	ほかにはございませんか。 吉田委員どうぞ。
吉田委員	先ほどの続きですが、不登校の子どもが小学校が35名、中学校が59名と言われたんですけども、そのなかで、学校が全然連絡が取れないというお子さんはいらっしゃいますか。
教育長	おりません。
町長	ほかには何かありませんでしょうか。 天田委員ありませんでしょうか。
天田委員	@ c a f e（あったカフェ）の開催について学校からメールがきていましたが、実際に不登校の子の保護者は、子どもが学校に行かないだろうから、@ c a f e（あったカフェ）の存在を知らないっていう人もいないでしょうか。
教育長	そのため、全保護者に連絡できる一斉メールにしています。 こういうところに参加する保護者は、知られたくないという思いもお持ちです。ですので、あまり大々的にお知らせはせず、計画段階から一斉メールで皆さんに知らせようと検討を進めておりました。
町長	ほかにはございませんでしょうか。 それでは、協議・調整①を終わりたいと思います。 次に、協議・調整②通学路の見守りについて、協議を行います。これにつきましては、まず事務局に説明をお願いします。
事務局	はい。では、私のほうから、簡単ではございますが説明をさせていただきます。 資料④をご覧ください。昨今、児童生徒が通学途中で事故に巻き込まれたり、交通事故にあつたりということが続いております。本町においても様々な立場の方が児童生徒の安全な通学を実現するために協力し合っております。立哨場所としましては、主に学校付近の交差点や道路を渡らなければいけないところになっています。



	<p>活動いただいている団体・立場としては、大きく分けて4つです。まず、教職員。次に、見守り隊です。名称は地区によって異なりますが、時津小学校区ですと、元村で6名、野田で2名、浦で2名。東小校区は、浜田で9名、小島田で7名、西時津で2名。鳴鼓小学校区が左底で31名、久留里で12名。鳴鼓小学校区においては、出られる時に、出られる人が出るという形で活動されているようです。北小学校区、日並で15名、子々川で5名ということで活動いただいております。原則として、児童生徒の登校があるときは、毎日立っていただいております。なかには下校の見守りも行っている学校区もあります。</p> <p>続きまして、交通安全母の会です。各小中学校の保護者で組織されている団体です。小学校区で見守りを行っていただいております。活動日は、月に2回、毎月1日と20日前後。土日の場合は、近いところの登校日で立っていただいております。各学期の始業日から7日間は、交代で立っていただいております。それと、年に4回あります交通安全運動の間中も立っていただいております。</p> <p>最後に、交通指導員です。時津小学校区に6名、東小学校区に2名、鳴鼓小学校区に3名、北小学校区に2名の方がいらっしゃいますけども、活動日としましては、母の会の活動日とほぼ同様となっております。</p> <p>こういった多数の方たちで現状見守りをおこなっているというところでございます。</p> <p>事務局からの説明は、以上になります。</p>
町長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>今説明が終わりましたが、この件に関しまして、ご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>宮原委員どうぞ。</p>
宮原委員	<p>今回、協議事項に「通学路の見守りについて」をあげた私のほうから、現状も含めて補足します。</p> <p>時津町は人口も維持し、時津に住みたいと思って転入され、子どもも増えることは、いいことだと思っています。その子どもたちが、成長し、時津に残りたいと思う、一度転出しても戻りたくなる町であってほしいと思っています。それを含めて、先ほどの大綱のなかにもありましたように、郷土愛とかそういった学習は、必要があると思っています。しかし、町が発展していく一方で、懸念されるのが、交通量の増加です。住む人が多ければ、通勤など車で朝夕行き来する人も増えます。</p> <p>先ほど事務局から説明がありましたように、通学路の見守りに、特に力を貸していただいているのが見守り隊です。PTAの父母の会があったにしても、毎日毎日出るわけではないです。それから、交通指導員の方も数がそろっている状況ではないです。見守り隊も全員が毎日参加されないし、少し無理</p>

	<p>をしてでも参加されている状況です。そういうなかに、高齢化に伴って、参加者が減少している現状があります。見守り隊を維持するため、シニアクラブ等の総会にお邪魔して、校長先生と一緒に新規勧誘を行いました。加入にはつながりませんでした。国道にガードレールが付いたり、施設の安全面は改善が進んでいるが、交差点であったり横断部分は、見守り隊がオレンジの防犯ベストを着て立っていることが事故抑止に寄与しています。他県等における通学時の交通事故のニュースを聞くと非常に残念です。時津町でそういう事故は絶対起こってほしくないと思います。</p> <p>こういう現状の中で、見守り隊を維持するため、町としても支援していただけることがあれば、検討いただきたいという思いから協議事項にあげさせていただきます。</p> <p>保護者がすべきだという声や、警備会社への委託も検討していくこともあるかもしれませんが、今も必要とされている見守り隊を維持できないかと考えています。</p>
町長	吉田委員どうぞ。
吉田委員	<p>私は見守り隊をしており、14年以上になります。高齢化は、問題になっています。見守り隊を始めたきっかけは、民生委員の活動でした。</p> <p>宮原委員が、有償の警備の話がされましたが、昔「緑のおばさん」と呼ばれる方がいらしたよね。当時は有償でしたが、今の見守り隊は無償のボランティア活動です。しかし、私は過去に受けた恩を次の世代に送るつもりで参加しています。</p>
町長	<p>私がPTA会長の時に、鳴鼓の見守り隊ができました。</p> <p>最初は学期末の下校の見守りだったと思いますが、当時の老人会にお願いして、活動していただいていた。</p> <p>有償となると、人数に制限も出てくるかもしれませんし、対価をもらうことの責任を重く感じる方もいらっしゃるでしょう。ボランティアでやっていいよという方もいらっしゃるでしょうし、皆さんに考えがあるでしょう。</p> <p>学校と地域との連携の中で作り上げてきたので、学校と地域の意見も出してもらう必要もあると思います。お金を出せばそれで済むという問題でもないと思います。</p>
教育長	<p>子どもたちが見守り隊をお呼びして、感謝状を贈るとするのは、どこの学校もやっています。</p> <p>PTAの方も、保護者の代わりに見守り隊の皆さんが登下校の見守りをしてくださっているので、PTAからも表彰を行うなどはどうでしょうか。</p>
吉田委員	<p>PTAからは、雨合羽を提供いただいたりしています。</p> <p>守り隊をやっている立場からいいですか。ボランティアでやっていて、これがお金が発生すると責任感を感じて、私は本当はやりたいのだけどやめると思います。子どもたちとの触れ合いや地域の方からの挨拶にやりがいを感じ</p>

	じて活動されている方は私も含めて、多いと思います。
教育長	団体に対して、時津町として町民表彰などはできないでしょうか。基準を設けて、個人ではなく団体を表彰できないでしょうか。
吉田委員	先日、見守り隊としての活動期間の調査が学校からありました。
教育長	それは、学校の調査です。 町が表彰することで、後継者の発掘ができれば最高だと思います。
町長	いいアイデアだと思います。 そういうことも含めながら、検討していくということによろしいでしょうか。 では、次に協議・調整③図書館教育について協議を行います。これは、説明は誰かされますか。
吉田委員	これは私が提案しました。 時津は小学校の図書室、図書館の司書の先生も本当に力を入れてくださって、子どもたちの本を読む量がとても多いと聞きました。私は本が好きなのですが、読書は人生を豊かにしてくれます。 私が主任児童員をしていた頃に、ブックスタートという行事にかかわっておりました。最初私が入ったときには、本の読み聞かせをして、本を2冊プレゼントして、そのうえに図書館通いの布製のバッグをプレゼントしていました。それが、だんだん小さくなって、布製のバッグがビニールバッグになって、2冊だった本が1冊になって、今は本1冊です。読み聞かせも定期健診の会場で行っていたけれど、今は、健診と別に行っています。子どもが本に触れるきっかけとなる事業が縮小していますので、図書館教育のうえでも重要となるブックスタート事業の充実を図ってほしいと思います。
町長	私も、絵本の読み聞かせは重要だと感じます。 幼児教育の研究者も、絵本の読み聞かせを評価していますし、絵本をとおしているんな想像をし、言葉を覚えます。 ただ絵本を配るだけではなく、これは福祉施策かと思いますが、読み聞かせが大切だと伝えるきっかけを作ることが大切だと思います。 しかし、乳児の定期検診の会場で行うことは難しい面があると思うので、待ち時間にDVDを視聴してもらって、読み聞かせの良い点を知ってもらうというのもいいと思います。読み聞かせは、親子間のスキンシップであったり、子どもの想像力の源になると思います。 例えば福祉なり、幼稚園とか保育園にどうやって入れ込んでいけるかなっていうのが、今課題かなとも思います。
教育長	家庭によっては、ブックスタートの絵本1冊で、あとは学校や幼稚園や保育園に行って、本に触れるだけで、家庭では1冊も買ってやれない家庭、興味関心がない親もいるわけです。吉田委員はそこにもう1冊という希望があるんだろうと思います。1冊に減ったのは、予算上の理由だという記憶があり

	ます。
吉田委員	司書さん等が読み聞かせをしてくださっていました。
教育長	図書館の司書さんは読み聞かせがとても上手ですし、そういう機会に赤ん坊の時から触れたら、いいなとは思いますが。
教育長	今、吉田委員がおっしゃいましたけども、こうしてほしいなという要望の意見だったと思っていただければ。
町長	<p>出産前の妊娠期に読み聞かせに関する情報を提供するのにも効果がありそうですね。どういったところに力を入れていくか、検討は必要ですが、保護者への読み聞かせに関する広報や呼びかけは行うようにしていっていいと思います。</p> <p>次に行っていていいのでしょうか。次は④寺子屋についてということで協議いたします。ご意見のある方またはご説明をしたい方がいらっしゃれば、どうぞ。</p>
吉田委員	私は、寺子屋で講師をしていて、今は算数・数学を指導しています。令和5年度は応募者多数により抽選となるくらい、知名度も上がり、活動も安定してきました。今後、英語についても取り組みたいと考えている。
峯委員	参加者は、抽選ということですが、塾とかに行かれてない子が多いんでしょうか。
吉田委員	塾に通っていないということを条件に募集をしています。
町長	指導の内容は、例えば6年生なら6年生の標準的な算数の力にあわせた指導を行っているのですか。
吉田委員	苦手な子どもを押し上げるというのが目的です。募集にも書いています。
天田委員	実際に、英語に取り組むとなると、リスニング指導には本当に専門的な人が必要となるのではないかと。
吉田委員	そういういった点も含めて、たくさんの方のことを考えなくてはならないが、英語の指導を行うことについて意見をお聞きしたい。
町長	<p>対象は、小学生、中学生ですね。</p> <p>大人には、いろんな公民館講座がありますよね。あとは、外国語大学ともパートナーシップ協定があるから、協力をお願いできないだろうか。曜日とか時間とかそういった調整が必要になりますね。</p>
吉田委員	心配しているのは、中学生の参加です。部活の試合や遠征で来れない子が多いです。
町長	<p>部活もあるし、英語も勉強しないといけない。それは、子どもは選択する必要があるからですね。</p> <p>土曜日午前中に行っているのですか。</p>
吉田委員	<p>月2回、午前10時から12時までやっています。</p> <p>今、算数で事業費が一番多くて年に32万円かかっています。それが、英語になると英語の先生とか別にお願ひするともっと高くなるのでしょうか。</p>
教育長	A L Tに呼びかけてできると思います。ちょっと報酬は高くなりますけど。

	開催は月に1度でいいと思います。寺子屋で、ALTと楽しみながら学習して。寺子屋とぎつ塾という母体があるので、そんなに難しいことじゃないと思います。講師も外大生が何人かボランティアで来てくれれば、なおさら良いと思います。
町長	ちょっとアイデアを出して、打ち合わせをしていってもらえれば、そういうのを企画するところも、職員の仕事ですから。 対象者はどうでしょうか。やはり、来たいという者がみんなが来れるような形で開催してほしい。お茶屋では、最大で何人受け入れが可能でしょうか。
吉田委員	今、算数塾は34人で使ってます。52人のときは、公民館別館とお茶屋にわかれて開催していました。 別の会場のことが全然わからなくて、困ったことがありました。
町長	これも年間なのか、半年単位なのか、3か月単位なのか参加者を入れ替えていってもいいでしょうし。希望者が多いのであれば、算数の場合は、つながりがあるので、参加者の入れ替えが可能かわかりませんが。
教育長	中学生に対してアンケートを実施し、ニーズを把握したうえで、検討してみてもどうでしょうか。
吉田委員	社会教育課の担当者に相談したらいいでしょうか。
教育長	そうですね、相談してみてください。
町長	では、寺子屋についてはいいでしょうか。寺子屋についてなにか発言はありませんか。 以上で、予定しておりました協議・調整を終了となりました。皆さまありがとうございました。
一同	ありがとうございました。
町長	それでは、進行を事務局へお返しします。
<b>【閉会】</b>	
事務局	町長、ありがとうございました。 本日は、皆様には貴重な御意見を賜りまして、誠にありがとうございました。最後に、本日の議事の公開につきまして、皆様にご意見をお伺いいたします。個人情報にかかわる事項を除き、本日の議事の概要をまとめた会議録を公開とさせていただきたいと思っておりますが、宜しいでしょうか。
一同	はい。
事務局	それでは、事務局において会議録を作成し、公開させていただきます。 これを持ちまして、時津町総合教育会議を閉会いたします。 本日は皆さま、ありがとうございました。
一同	ありがとうございました。